

様式第2号（第8条関係）

会議録

- 1 会議の名称 令和8年度 第1回川根本町バス路線対策委員会
- 2 会議日時 令和8年8月19日（水） 午後2時から午後3時30分まで
- 3 開催場所 川根本町役場本庁舎3階会議室
- 4 出席したものの氏名
 - (1) 委員 松原一臣委員長、佐藤淑彦委員、大村格委員、瀧澤哉史委員、大石政男委員、中村勇委員、山内まゆみ委員、山下登志子委員、鈴木多津枝委員、桑原克之委員
 - (2) 執行機関（事務局）
くらし環境課 和田昭宏課長、山本雅俊室長、前田大貴主幹、唐沢壮主査
高齢者福祉課 竹野克彦課長、梶山祐美主幹
- 5 欠席したものの氏名
 - (1) 委員 下村和敏委員
- 6 次第、会議資料の名称
 - (1) 開会
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 報告事項
公共交通の現状について
市町自主運行利用実績について
 - (4) 協議事項
外出支援サービス事業の運行期間更新について
公共ライドシェア導入に向けた事前調査について
コミュニティバス路線における「ハッピーライドinしずおかプロジェクト（小学生バス無料デー）」の実施について
 - (5) 閉会

7 発言の内容

【報告事項】

① 公共交通の現状について

(委員)

運転免許自主返納者に対するバス回数券の交付支援について、この支援は、もともと運転免許を持っていない高齢者との間で、サービス内容に不公平が生じているのではないかと。町はなぜ免許返納者のみを対象としたサービスを設けているのか。

(事務局)

免許自主返納支援については、これまで自家用車を運転して自由に移動できていた方が、健康上の理由などで免許を返納した際、急に移動手段を失ってしまうことに対する、生活の足の代替手段を確保していただくための支援である。

一方で、もともと免許をお持ちでない方や、自家用車を運転されない高齢者の皆様も含め、町内に在住する75歳以上のすべての方々に対しては、免許の有無に関わらず、運賃が半額となる『割引パス』を毎月郵送で交付しており、この2つの制度を併用し、段階的かつ広範囲に高齢者の移動手段をサポートしている。

(委員)

デマンドタクシー（おでかけ号）の運行時間について、現在昼の12時から13時までの1時間が完全に運休となっている。例えば昼休みをシフト制でずらすなど、1日を通していつでも呼べて、シームレスに運行できるように改善できないか。

(事務局)

昼の1時間が運休であるのは、運行事業者の運転手において連続運転時間制限（労働環境改善に伴う乗務管理）により、確実に1時間の休憩を確保するためである。ただ、利用される町民の皆様の立場からすれば、1日を通して運行されているのがベストであることは承知しているため、現在の3台体制の中で、ドライバーの勤務シフトをずらすなどして、昼休み時間を相互にカバーする運用ができないか、今後の労務環境や運行委託先との協議の中で、検討を進めていく。

(委員)

デマンドタクシーにおける『付き添い同乗』について、障害をお持ちの方や、1人での移動が不安な高齢者が乗車する際、家族や支援者が付き添いとして一緒に乗ることは可能か。また、事前に特別な申請などは必要か。

(事務局)

障害をお持ちの方や、1人での乗降が困難な高齢者の方に、付き添いの方が同乗されることは認めている。同乗にあたり、役場への事前の書面申請や手続きなどはなく、電話でデマンドタクシーをご予約いただく際に、『付き添いも1名同乗します』と口頭でお伝えいただければ、対応している。

(委員)

資料10ページの『1日フリー乗車券』の販売状況について、令和7年度は1,016枚と、前年度の926枚から販売数は増えている。一方で、運賃の総収入額が減っているのはなぜか。

(事務局)

フリー乗車券の販売枚数は増加している一方で、全体の収入が微減している要因は、購入されるお客様の『属性割合』の変化である。

フリー乗車券は一般の方には、500円で販売しているが、小学生、未就学児、障害をお持ちの方々に対しては、100円で販売している。

昨年度の実績を分析したところ、この適用となる方の割合が、全体の中で増加している。町としては、福祉的な移動支援が地域に浸透し、移動困難な方々に活用していただいた結果と捉えている。

② 市町自主運行利用実績について

・意見なし

【協議事項】

① 外出支援サービス支援事業の運行期間更新について

(委員)

9月以降の体制に変更はないのか。

(事務局)

変更はない。

(委員)

外出支援サービスは料金も安く、乗る人が多くなったと感じる。例えば通院などで、午前中の同じ時間帯に利用が重なった場合、車両のやりくりが限界になって、予約を断るような事態は起きているのか。また、おでかけ号も同様であるか。

(事務局)

現在、車椅子対応車などを含め5台で運行している。通常稼働は3～4台であり、5台すべて同時稼働して予約が重なるケースは、実際には月に1～2回程度である。おでかけ号については、受付の段階で『予定時刻より5分から10分程度前後お待ちいただくことは可能か』と確認をさせていただき、乗車を断ることのないよう、現場と連携して最大限調整している。

② 公共ライドシェア導入に向けた事前調査について

(委員)

千頭駅発(15:10)、奥大井湖上着(15:30)の『最終便』について、この時間帯に到着した観光客が千頭駅に帰るための交通手段は確保されているのか。

(事務局)

奥大井湖上駅発(15:59)千頭駅行きの大井川鐵道井川線に接続している。

(委員)

今回のライドシェアは観光客向けのルートであるが、町民の生活のため、特に高齢者など交通弱者への移動手段について、今後どのように考えているのか。

(事務局)

今年度は、最もタクシー不足が深刻化する紅葉シーズンの、観光客の利用が見込まれる区間（千頭駅～奥大井湖上駅）で、まずは、有償での実証運行を問題なく実施できるか、安全対策などが担保できるか検証することが目的である。

ただ、住民の皆様の移動の足として、ライドシェアの必要性も十分に認識しており、15日間の実施中にアンケートで意識調査を並行して実施し、その結果と運行状況、ドライバーへの還元などを見極めた上で、今後『住民の足としてのライドシェア』をどのように設計できるか、関係者と連携して検討を進めていく。

あくまで取り掛かりの実証運行であり、短い期間の実施となることについては、ご理解いただきたい。

(委員)

公共ライドシェアの運行ダイヤについて、各種公共交通と繋がらない時間帯もあるように見受けられる。設定の理由をお聞きしたい。

(事務局)

9時発及び13時発は、家山から千頭駅に到着する、町営バス千頭・家山線との接続を見込んでいる。また、観光客も多様であり、千頭駅周辺での滞在時間の差もあることから、様々な利用パターンを見込んでダイヤを設定した。

③ コミュニティバス路線における「ハッピーライドin静岡プロジェクト（小学生バス無料デー）」の実施について

・意見なし

【その他意見交換】

(委員)

事前にいただいた川根本町公共交通計画を拝見した際、大井川鐵道の全線復旧後について記載があった。現在、川根本町と家山間の町営バスは安価であるが、今後、大井川鐵道復旧による交通体系の見直しの際、町内から町外の学校へ通う学生と、町外から町内の学校へ通う学生の通学費が増加するのではと懸念している。負担を減らすための通学補助について、ぜひ検討していただきたい。

(事務局)

この場で方針についてお答えできないが、関係機関と情報共有し、町全体で検討していきたい。

(委員)

町営バスのダイヤについて、川根高校最寄りの徳山バス停への到着時間が、1 便だと始業より 1 時間以上早く、2 便だと始業を過ぎてしまう現状である。

もう少し学生の始業時間に沿ったダイヤにすることで、今後通学する学生の増加に繋がると考えられるため、ぜひ検討していただきたい。

(事務局)

現在の町営バスは、家山線に到着する大井川鐵道に接続したダイヤとしている。

町営バスのダイヤの変更には、大井川鐵道との協議が必要であるため、より良い交通手段となるよう引き続き検討していきたい。

(委員)

まつおか薬局や魚勇などが行っている無償の送迎は、取組として非常に努力していただいていると感じている。

今後も続けてほしいと願っているが、町でお礼のようなことは考えているか。

(事務局)

町でできない部分を補っていただいております、このような無償の施策もドライバーがいなければ成り立たないと理解している。本町としても、どのような支援や環境改善が可能なのか、町全体で連携しながら、担い手の確保と処遇のあり方についてしっかりと検討を進めてまいりたい。

上記に相違ないことを確認する。

バス路線対策委員会 委員長 松原一臣